

平成27年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成27年4月～平成28年3月

1. 学校概要

学校名 見附市立見附第二小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 中高一貫教育 高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

所在地 〒954-0022
新潟県見附市杉澤町3561

E-mail mdaini@mituke-ngt.ed.jp

Website http://www.mitsuke-ngt.ed.jp/~mdaini/

児童生徒数 男子 13名 女子 13名 合計 26名
 児童・生徒の年齢 7歳～12歳

2. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

① 「杉沢の森」「本明川」を中心に据えた自然体験活動の展開



地域の里山（杉沢の森や本明川）を中心とした自然観察・調査活動、自然保護活動により、子どもたちの自然を大切にしようとする意識が高まった。

② 環境にやさしい取組（リサイクル活動、EM菌による給食の残食堆肥化、エコキャップ運動等、いわゆるエコ活動の実践や貢献）



リサイクル活動

エコキャップ運動

EM菌による堆肥化

しっかり分別すれば燃やすゴミを減らし、二酸化炭素の量を減らせるなど、地球の温暖化と環境の関係に気づき、地球温暖化防止を目指したエコ活動の実践力が身に付いてきた。

③ 降積雪量観測の継続

昭和44年から、市の依頼を受け、グラウンド等の降積雪量観測を行っている。雪害対策の参考データにもなっている。その取組が認められ平成24年には内閣府社会貢献青少年表彰を受けた。今年度も継続して観測を行い、降積雪量の変化に目を向けていた。

統計資料の集積により温暖化傾向の状況をつかみ、地域社会へ貢献しようとする意識向上が図られた。



降積雪量観測

④ 地域の伝統食を調べたり、作ったりして継承しようとする活動



長岡菜の栽培



サツマイモ掘り



長岡菜漬け



伝統食作り（煮菜）

地域人材から協力してもらい、望ましい食生活についての学習、野菜の栽培、農作物の生産地見学、伝統食作り等を行った。低・中学年の児童は、食材の育ち方や生産者の願いや苦勞を学んでいた。伝統的な食について学んだ高学年の児童は、文化の後継者としての自覚をもつことができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（降積雪量観測については、登校時の朝活動として行った）